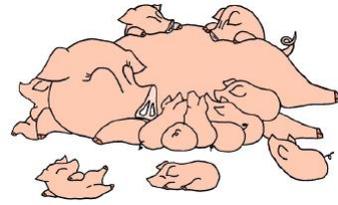


## PED対策の再徹底をお願いします。



★豚流行性下痢（PED）は過去3年間を見ると、気温の低下する10月以降に発生が増加する傾向にあります。今冬の発生シーズンに備えましょう。

### 飼養衛生管理の再確認と適切な対策を実施しましょう

PEDの発生予防、伝播防止のためには、各農家における対策が極めて重要です。特に、



#### 消毒の徹底

- ・車両、畜舎の消毒を徹底する。

※裏面に消毒方法例示有り

#### 野生動物対策

- ・農場柵の設置、豚舎等の修繕などを行う。
- ・ねずみ、害虫等の駆除を実施する。

#### ワクチンの活用

- ・ワクチンの適切な使用によって、ウイルスが侵入した場合における被害を低減させる。

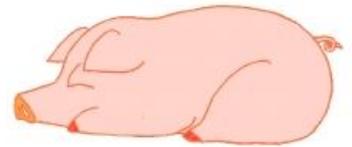
#### 人、車両の出入り

- ・人、車両の出入りを記録し、保存する。
- ・関係者以外が畜舎にみだりに立ち入らせないようにする。

を重点的にチェックしましょう。

### 早期通報

次に示すような症状が出た場合、  
すぐに家畜保健衛生所へ連絡して下さい。



#### 症状①

複数の繁殖豚が分娩した哺乳豚のうち、半数以上が水様性下痢・嘔吐・死亡した場合

#### 症状②

哺乳豚1頭以上が水様性下痢・嘔吐・死亡し、半日以内に他の哺乳豚に同一症状が拡大した場合

#### 症状③

複数の繁殖豚・肥育豚が、食欲不振・下痢（軟便～水様性）・嘔吐を呈した場合

中央家畜保健衛生所（西濃総合庁舎内）

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111 (内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp



# ウイルス侵入防止のための消毒方法

## ① 車両の消毒

### ● 車両内部

- ・運転席のマット消毒
- ・ハンドル、ペダルの消毒
- ・荷台の消毒

～車内は、消毒液に浸した布や消毒噴霧器等を使用して清掃しましょう～

### ● 車両外部

- ・タイヤの消毒

～タイヤ周辺は汚れが付きやすいので、簡易消毒器やブラシを使用～

## ② 畜舎の出入り口における消毒

- ・消石灰等の消毒薬の使用
- ・消毒槽の設置

～有機物を十分に除去し、消石灰帯を設けるとともに、ビルコン等の踏み込み消毒槽を設置する～

※ブーツカバーを着用しても可

## ③ 手指の洗浄又は消毒

～石鹼やアルコールスプレーを用い、手指の洗浄、消毒を行う～

※使い捨ての手袋を着用しても可



消毒用噴霧器



踏み込み消毒槽



ブーツカバー